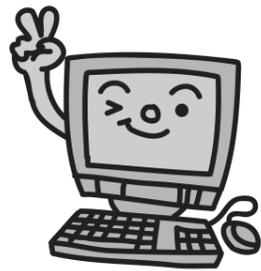


市民1人当たり の予算額は？

37万2,932円



総務費	庁舎管理や選挙、住民登録など	61,994円
民生費	福祉や子育て支援など	109,595円
衛生費	健康増進や環境保全など	24,087円
農林水産業費	農林業振興、生産基盤整備など	19,870円
商工費	商工業や観光の振興など	14,243円
土木費	道路、河川、公園などの整備等	43,473円
教育費	学校教育、生涯学習など	32,079円
消防費	火災など災害への対策等	18,078円
公債費	市債など借入金の返済	45,034円
その他	議会費、労働費など	4,479円

市の人口99,348人 (平成24年4月1日現在)
 ※住民基本台帳および外国人登録人口による

用語説明

歳入

- 一般会計**…市の運営の基本的な経費をひとつにまとめた会計
- 特別会計**…一般会計と区別して経理する必要がある会計
- 企業会計**…民間企業のように利用料金などの収益で運営している会計
- 市税**…市民の皆さんや市内の会社等が納める税など
- 繰入金**…積立金(基金)の取り崩し金や他の会計から繰り入れるお金
- 地方交付税**…市町村の財政力に応じて国から交付されるお金
- 国庫支出金**…事業を行うため国から支払われる負担金・補助金など
- 県支出金**…事業を行うため県から支払われる負担金・補助金など
- 地方債**…市町村が事業を行うための借入金(借金)

性質別歳出

- 人件費**…職員の給与や議員報酬など
- 扶助費**…高齢者や児童、心身障害者などへの支援のためのお金
- 公債費**…市の借入金(借金)を返済するためのお金
- 普通建設事業費**…道路や公共施設の新設・増設に必要とされるお金
- 物件費**…消耗品や臨時職員賃金、業務委託料など
- 補助費等**…各種団体に対する助成金や一部事務組合への負担金など。その他、報償費(講師謝金等)や役務費(保険料等)も含まれます。
- 積立金**…財政運営を計画的に行うため、基金へ積み立てるお金
- 繰出金**…各会計の間で支出されるお金

本台帳システム改修委託料の増(2470万5000円)などにより増額となりました。
 商工費は、地域経済活性化住宅助成事業(住ま居る応援制度)(6000万円)、企業支援助成事業の増(5590万円)などにより増額となりました。
 農林水産業費は、県営土地改良事業の増(4659万9000円)、ほりてーゆー改修工事費の

増(1億8381万1000円)などにより増額となりました。
 土木費は安曇野ICへの名称変更経費(2億800万円)、市道新設改良事業の増(2億382万4000円)、街路整備事業の増(9853万5000円)などにより増額となりました。
 消防費は、デジタル同報系防災無線整備の増(2億5736万6000円)、非常備消防費の増(2

511万9000円)などにより増額となりました。
 教育費は、給食センター建設事業の減(8億1192万円)、小学校耐震補強大規模改造事業の減(2億1995万5000円)などにより減額となりました。
 性質別の主なものは、人件費が1.9%減の58億8604万7000円、物件費は1.4%増の61億4242万1000円、扶助

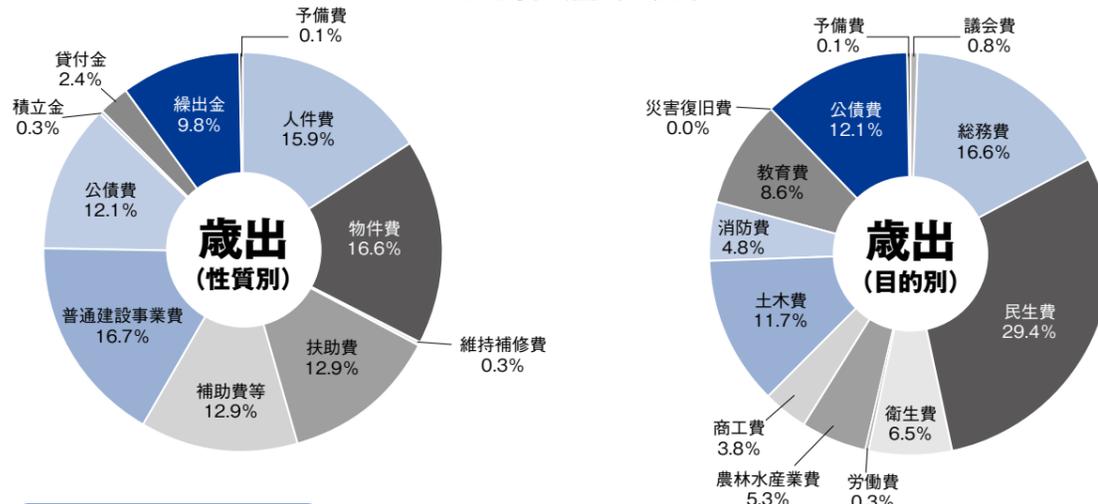
費が4.8%減の47億8421万2000円、補助費等が7.5%増の47億9164万円、公債費が4.8%減の44億7433万3000円、普通建設事業費が57.2%増の61億8577万8000円などとなっています。

歳出

歳出では、予算編成方針に基づき、さまざまな事業の実現化が図られています。目的別で見ると「総務費」「土木費」「消防費」の伸びが大きくなっています。事業によっては合併特例債や各種交付金などを活用し一般財源を有効に活用できるようにしました。

全体の29.4%を占める民生費では介護給付費・訓練等給付費の増(1億266万7000円)や生活保護扶助費の増(5890万3000円)、介護保険特別会計への繰出金の増(8725万7000円)、公立保育園整備費の増(8583万7000円)などがあるものの、子ども手当の減(4億5048万3000円)などにより減額となりました。
 総務費では本庁舎建設事業の増(18億4162万4000円)、明科総合支所等施設改築事業の増(2451万9000円)、住民基

平成24年度
一般会計歳出構成比率



歳出予算の増減

